

I 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

「学習の質を重視するとは、どういうことか」

まず第1に、事実や手続きを丸暗記するのではなく、理解して覚えることである。これは、勉強のよくできる人にとっては、あたりまえのことだ。ア、実際には「理解する」というのはやさしいことではない。教科書を読んでも、問題集の解答を見てもわからないことも多いだろう。「理解して覚えよ」と、サラリと言われても困ってしまう。そこで、しかたなく丸暗記せざるをえないこともあるが、基本的には「理解したい」という方向づけをもつことだ。(中略)

第2に、結果の正誤より問題を解く過程を重視し、「失敗から学ぶ」という姿勢をもつことである。正解を出してマルをもらえば、たしかに気分がいいし、自信もつく。その気持ちは大切にしたい。しかし、失敗したときこそ、自分の考え方のどこがおかしかったのかに気づく絶好のチャンスなのだ。なぜ間違えたかがわかれば、必ず次に生かすことができる。こうして自分の知識をより完全なものにしていくことこそ学習なのだと考えてほしい。

第3に、勉強量よりも、何が身についたのかを気にかけることだ。「どれだけ勉強したか」と聞かれると、「きのうは、2時間やった」とか「問題集を3ページやった」とか答えたくなる。ついつい、勉強量が多ければ満足してしまう。しかし、「どれだけ勉強したか」ということは、「何を学んだか」というのと同じことだと思ったほうがいい。「今日わかったことは何か」「きのうより、よくできるようになったことは何か」に注意を向けてほしい。

出典：市川伸一（2000）. 勉強法が変わる本. 岩波書店, pp.27-28（一部改変）

問1 空欄  にあてはまる接続詞を答えなさい。

問2 問題文中の下線「絶好」の意味として、最も正しいものを選択肢の A)~E) のなかから一つ選び、答えなさい。

- A) 過不足なくちょうど当てはまること
- B) ほかに例がないほど貴重なこと
- C) 判断の結果ややり方が効率的であること
- D) 物事を行うのに非常に良いこと
- E) 物事のやり方が理想的であること

問3 著者は、「学習の質を重視するとは、どういうことか」について3点を挙げている。あなたは、そのなかで何が最も重要だと思うか。重要だと思うことと、その理由を100~200字でわかりやすく説明しなさい。

正解 問1 (情報間の関係を問う問題)

「しかし」など、逆接の接続詞を正解とする

問2 (語彙力を問う問題)

D

問3 (説明力および語彙力を問う問題)

採点基準は以下のとおり

- 著者が挙げている「学習の質を重視していること」の3点のうちの一つを、重要なこととして挙げている
- 重要である理由を論理的に説明している
- 日本語として適切な言葉・文法を用いて説明している

<参考> 日本語能力を問う問題には、サンプル問題の他に以下のような問題例があります。

問題例 1 次の A)~C) は、事実として述べたものか、推測として述べたものか、意見として述べたものか、答えなさい。

- A) 親子丼には、一般的に、卵と鶏肉が使われる。
- B) 鮭といくらのどんぶりも、親子丼と呼べるだろう。
- C) 北海道では、鮭といくらのどんぶりのことを親子丼と呼ぶかもしれない。

問題例 2 次の A)~C) を抽象度の高い順に並べなさい。

- A) 私は、医学部を受験する予定である。
- B) 私の夢は、医者になることである。
- C) 私は、世界中の困っている人たちを救いたい。

問題例 3 次の A)~E) の文を、読み手にとってわかりやすい順序になるように並べ替えなさい。

今朝、起きたのは6時ごろだったと思います。

- A) 9時から始まる授業に15分ほど遅れました。
- B) コーヒーと目玉焼きとトーストの朝食を7時すぎに食べました。
- C) 家を出たのは8時ごろです。
- D) 7時まで、授業の予習をしたり、メールの返信をしたり、SNSを見たりしました。
- E) 8時台のバスが大幅に遅れていました。

出典：結城浩（2013）. 数学文章作法 基礎編. 筑摩書房, p.54（一部改変）

問題例 4 次の文をわかりやすく書き換えなさい。複数の正解がありうるが、解答は一つだけでよい。

私はカメラを抱えたまま寄ってきたリスにクルミをあげた。

出典：結城浩（2014）．数学文章作法 推敲編．筑摩書房，p.85

問題例 5 次の文章は，1 文目と 2 文目が事実，最後の文が筆者の主張になっている．3 文目の空欄  に入る，事実と主張をつなぐ理由として最も適切な文を，以下の選択肢 A)~D) のなかから一つ選び，答えなさい。

駅前から青川に行く最終バスは 22 時発である．先月の調査によると，この最終バスの利用者数は毎回 3~5 人程度であった． したがって，22 時発のバスは廃止したほうがよい。

- A) 青川へは別のルートのバスがある。
- B) 最終バスの利用者数を増やす努力をすべきである。
- C) 利用者数が少なくても，サービスを提供するのは公共交通機関としての義務である。
- D) 利用者数が少ないため，赤字になってしまう。

正解 問題例 1 (情報の分類を問う問題)

- A) 事実
- B) 意見
- C) 推測

問題例 2 (情報の抽象度を問う問題)

C), B), A)

問題例 3 (話題の整合性, 論理のつながりを問う問題)

D), B), C), E), A)

問題例 4 (日本語としての適切な言葉・文法を問う問題)

以下の正解例がある。

私はカメラを抱えたまま, 寄ってきたリスにクルミをあげた。

寄ってきたリスに, 私はカメラを抱えたままクルミをあげた。

リスが寄ってきたので, 私はカメラを抱えたままクルミをあげた。

リスが寄ってきた。私はカメラを抱えたまま, そのリスにクルミをあげた。

問題例 5 (適切に説明する能力を問う問題)

D)